

2025年1月23日(木) スルメイカ 海月(みづき) 引本港
小潮:旧12月24日 満潮11:09(132cm) 干潮19:05(48cm) 満潮26:43(106cm) 引本港湾
私 スルメイカ 6杯 マイカ 1杯
ツレ スルメイカ 15杯 アジ 1尾(良型)

13時30分 自宅発
15時20分 事務所着
(1時間50分 高速・コンビニ)
16時00分 集合、受付
16時45分 出船
19時05分 干潮(48cm 引本港湾)
23時05分 納竿

【料金】

男性 11,000円 女性 9,000円
氷はいただいた。釣り座は船長の指示。



【仕掛け】 イカメタル、オモリグ、バチコンを持参

ドロPPER1個 前回、お祭りしたときにほどくのが大変だったことから、ドロPPERを1つにした。

ハリスは15cm。幹糸・ハリスとも3号。

イカメタルの鉛スツテは20号・25号

※20号でスタート。道糸が高切れしたため、自分は途中から25号に、ツレは最後まで20号だった。

20号も25号も釣っているときの重さの違いをあまり感じなかったことから、25号中心に準備すればよい。

※前回、あまり釣れなかったのは、かかり釣りであるのも関わらず、ドロPPERや鉛スツテを交換しなかったことが要因と考え、今日はたくさん交換することとした。しかし、餌撒きが強いということから、交換すべきは餌撒きの餌、鉛スツテということになる。

※餌撒き用の餌に、鯖の切り身を持参した。船長に鶏胸肉をいただいた。どちらがよいかはわからなかった。

オモリグ:当たりがわかりやすいように、パイプ天秤を使ったが投げにくかった。うまく飛ばなかった。

バチコン:終了10分前にツレが置き竿にした。良型が掛かった。仕掛けは逆ダンでハリスは長めである。底から2m上で固定した。錘は20号。置き竿にするなら40号を使うべき。

【様子】

○天気予報を見て3日前に予約した。風は微風だったが、うねりがあった。

○前回、波がなかったので、今回は酔い止めを飲まなかった。これがまずかった。途中で薬を飲んだが、終わるまで酔ってしまった。ツレは途中から回復したとのこと。

○かかり釣りで、水深は60m。

○午後6時30分、船中で釣れた。ツレは8時の段階で数杯だった。自分は1杯釣れていただろうか。

○その後、ツレは調子よく掛け始めた。9時頃だったのだろうか。釣り方を教えに来てくれた。

○この段階で自分は1杯だった。釣り方を教えてもらって、終了までに6杯釣った。

○終了まで10分とアナウンスがあった。バチコンの準備がしてあったので、ツレがバチコンを始めようとイカメタルの竿を置き竿にした。水深35mあたりで当たっていたので、ここに固定したとのこと。バチコンを

始めた頃に、イカメタルに当たりがあった。イカを回収している間に、バチコンに当たりがあった。アジを回収している間に、またイカの当たりがあった。終了前10分間で置き竿でイカ2杯、アジ1尾を釣った。

【ツレの釣り方】

- (1) 仕掛けを落としながら、探っていく。
 - ①糸が出るように、クラッチを切りスプールを親指で押さえながら、竿を上まで振り上げる。
仕掛けが水中でとどまっていることをイメージしながら行う。
 - ②竿を振り上げたら少し待ち、その後、竿が水平やや下になるまでゆっくり下げてくる。
 - ③ここで当たりを待つ。15秒から20秒待つ。
 - ④当たりがなければ、①から繰り返す。

※違和感を感じたら更に待つ。それでも掛からなければ、竿を小さく上下させるなどアプローチを掛ける。いろいろアプローチを掛けて待つ。イカがぐっと引っ張るのを待つ。掛からなければ、①から繰り返す。

※底(下の棚)まで来たら、巻き上げながら探っていく。
- (2) 巻き上げながら、探っていく。
 - 「ワンピッチで3回巻いて待つ。」を繰り返す。
 - 上の棚まで来たら、(1)から繰り返す。
- (3) その他
 - 落とし込みでは2～3mずつ、巻き上げでは2mずつ探っていくことになる。
 - 今日の棚は30m～底(60m)だったので、落とし込みも巻き上げも10～15回で棚の端まで行くことになる。

【自分が釣れなかった要因】

- 違和感があったとき待った。小さな当たりで掛けにいった。掛からない。これの繰り返しだった。掛けにいった掛からないことで次の大きな誘いとなってしまった。これでイカが離れていったのではないかな。
- 違和感があったときに待ち、次の小さな当たりを掛けに行くか否かは、その日の状況によると考えられる。掛けにいった方がいいのか、イカが強く引くまで待つべきか、判断すること。

【潮の大きさについて】

- 潮の緩い時に行った。前回より喰いは良かった。

前回 中潮:旧12月6日

干潮15:30(72cm)

満潮21:03(136cm)

干潮27:37(33cm)

差が64cm 11.5cm/h

差が103cm 15.7cm/h

今回 小潮:旧12月24日

満潮11:09(132cm)

干潮19:05(48cm)

満潮26:43(106cm)

差が84cm 10.5cm/h

差が58cm 7.6cm/h

→ 潮が小さいから釣れるかどうかはわからないが、潮が小さくても釣れるということだろう。

【次回に向けて】

○イカメタル(スルメイカの場合)

鉛スッテ 20号25号30号 赤黄、赤緑、赤白 タングステン25号

ドロッパー 餌撒きスッテ 餌:鯖の切り身か、鶏胸肉か? 新鮮な餌に付け替えることを心がける。

幹糸、ハリスともフロロ3号 → エステル4号にしてはどうか。リーダーもエステル4号にしてはどうか。

エダス:今回15cmだったが、5cmにしてはどうか。

枝間 今回100cm以上あった。 → 竿の長さに合わせること

○バチコン

逆ダン仕掛け 鉤は1本 ハリス20~30cm 捨糸50~60cm

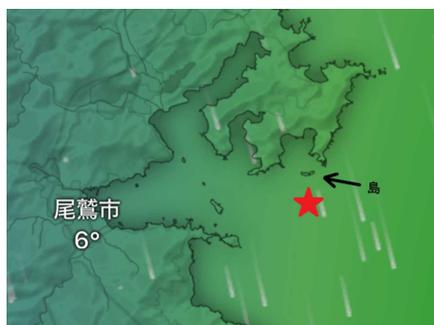
おもり40号(=150g)

二本継ぎロッドと手巻きの鯛用リール

※スルメイカもステイが必要。ステイは5秒~20秒

※違和感があったときに待ち、次の小さな当たりを掛けに行くか否かは、その日の状況によると考えられる。掛けにいった方がいいのか、イカが強く引くまで待つべきか、早く判断すること。

※釣行前に記録を読んでおくこと。



天気予報のために船長に釣り場を尋ねた。島の近くで釣っているとのこと。